

パパ ママ 自転車「あんぜん」通信



みなさん、こんにちは。さいたま市自転車まちづくり推進課です。お子様との自転車ライフはいかがでしょう？安心安全に、楽しくお使いいただけていると幸いです。今回は以前アンケートでお伺いしました、自転車を利用して体験したこと、感じたことなどをサポーターの皆様に共有したいと思います。その他、さいたま市に誕生した自転車チームや自転車を使用してしばらくたってからの整備点検について、ご紹介します。

今回の
メインテーマ

【みんなの体験談】子ども乗せ自転車を使ってみて

皆さんからいただいた体験談をご紹介します。テーマは【ヒヤリハット体験談】と【子どもとの楽しい体験談】。似た体験をされた方も多いのではないのでしょうか。体験談を共有することで、自転車ライフがより安全で、豊かなものになれば、と思います。

こんな危険が...パパ・ママヒヤリハット体験談

皆さんのアンケートから、思わずヒヤッとした体験を抜粋しました。市からのコメントと一緒にお届けします。



重い！

- ・自転車が重すぎて倒れてしまった。ヘルメットを被せていたので頭を守れ、怪我はなかった。
- ・子どもを乗せた状態での押し歩きやUターンをする時に、自転車が重すぎて倒れそうになった。



CHECK

押し歩きや自転車に乗ったままでUターンをするのは、バランスを崩しやすいですね。子どもを乗せる前や、平らで広い場所を探して方向転換するなど、転倒の危険が少ない方法を選びましょう。一番は「急がず！焦らず！」。そして、ヘルメットを子どもに必ず被せて、子どもを守りましょう！

一時停止！

- ・一時停止を見落としがちだったが、路地から大通りに出るときなど、建物で死角も多く、一時停止の大切さを知った。子どもにも一時停止など、交通ルールを伝えようと思う。



CHECK

一時停止をはじめ、自転車も交通ルールを守ることが、事故に遭わないためにとっても重要です。子どもに伝えよう、というママ・パパの気持ちや、とてもうれしく感じました。子どもはこれから一人で自転車に乗るようになります。ママ・パパが子どもに交通ルールを教えてあげましょう。

イヤイヤ！

- ・先に前の座席に子どもを乗せてしまった時、子どもがベルを鳴らそうと突然動き、危うく自転車が倒れるところだった。
- ・自転車を運転中、子どもがイヤイヤ期で大暴れして、倒れそうになった。



CHECK

子どもが自転車に乗るのを嫌がったり、機嫌が悪くて自転車で暴れたり。時間がない中で大変ですね。それでも、子どもの安全のため。何度も乗っていると、子どもが自分から「乗りたい！」「ヘルメットかぶる！」と言ってくれるという体験談も。ママ・パパの皆さん、頑張りましょう！

他にも...

- ・行ける！と思って急発進したら、アシストが思ったより効いてしまい、転倒しそうになった。

CHECK

スタート時に思いもよらず急加速して転倒してしまう、という事故は電動アシスト付自転車ならではの、です。無理に焦らず運転しましょう。

- ・知り合いが抱っこ紐で赤ちゃんを抱っこしながら自転車に乗っていた。危ないよ、と注意することができた。

CHECK

自転車の交通ルールの周知、ありがとうございます！周囲の方に伝えることで、かわいそうな事故を減らすことができるかもしれません。

自転車で増えた！子どもとの楽しい体験談



市職員

「さいたま自転車ルールブック」「子ども乗せ自転車を楽しむためのハンドブック」を、もう一度チェック！「ヘルシースルメ」も覚えていませんか？



DLも可能です

自転車に乗りながら子どもとお花や景色について話したり、一緒に歌ったり、季節の空気や匂いを感じたりして、楽しんでいます。笑顔で乗ることが増えました。

電車が大好きな子どもと線路の下を通ったり、電車を通るのを見られる場所に行っています！

子どもと初めて自転車に乗ったとき、最初は怖がっていましたが、走り始めるとすぐ楽しかったようで、今度は止まると泣くようになったのが面白かったです。

今までバスで行っていた公園に自転車で行けるようになって、気兼ねなく泥んこで帰れるようになりました。

休日の習い事は、主人が子どもと自転車で送っています。その時、幼稚園や習い事について話すそうです。自転車の時間が、普段忙しい主人との貴重な団らの時間になっています！

自転車プロチーム「さいたまディレーブ」が誕生

さいたま市をホームタウンとした地域密着型の自転車プロチーム「さいたまディレーブ」が誕生しました。さいたま市では、これから、さいたまディレーブと連携した自転車施策にも取り組んでいきます。ここでは、さいたまディレーブの活動や、チームが参加する競技についてご紹介します。

さいたまディレーブが参加する自転車競技 ～自転車ロードレース～



ロードバイクというスピードに特化した自転車です。順位を競う競技です。さいたま市で秋に開催される「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」もこの競技。チーム戦であり、チームのエースを勝利に導くため、チームワークが重要となります。



さいたまディレーブが参加するリーグ ～ジャパンサイクルリーグ～



元F1レーサーであり、自身の自転車チームを立ち上げ、また、さいたま市自転車まちづくりアドバイザーでもある片山右京さんをチェアマンとして、2021年に開幕します。

日本から世界の舞台に挑むチームの出現を目指し、9チームからスタートします。

さいたまディレーブの活動をご紹介します



ロードレースに参戦



2020年より実業団レースに参戦しています。長い時には一日で200kmを超える距離を走る過酷なレースに耐えるため、日々のトレーニングも欠かしません。さいたま市で自転車店を営む鈴木監督をはじめ、さいたまにゆかりのある選手も多数在籍。2021年から参戦するジャパンサイクルリーグの開幕戦は3月27日です。

自転車教室の実施など地域貢献の活動



自転車競技だけでなく、地域貢献活動も積極的に実施しています。令和2年度には、中学校やスポーツ少年団での自転車教室をさいたま市と連携して実施しました。今後、さらに多様な形での連携を考えていきます。サポーターの皆さんや子どもたちが参加できるようなイベントを行う際は、ニュースレターでもご紹介します。

自転車の点検・整備について

自転車の点検・整備はとても重要です。

自転車を購入されてから、ある程度乗られた方もいらっしゃると思います。安全に乗り続けるために重要なのが、「自転車の点検・整備」。特に、日々の利用の中で自転車を自分で点検することが非常に重要です。

自転車の空気は自然と抜けていきます。空気が抜けた状態で走るとバンクする可能性が高まり、危険です。空気はちゃんと入っていますか？その他、自分で点検できる部分を右のチェックリスト使って確認しましょう。

<input type="checkbox"/> チェックリスト	<input type="checkbox"/> サドル 曲がっていないか？ ガタツキはないか？	<input type="checkbox"/> ハンドル 曲がっていないか？ ガタツキはないか？	<input type="checkbox"/> ベル 音はなるか？
<input type="checkbox"/> 反射板 汚れていないか？	<input type="checkbox"/> タイヤ 空気は入っているか？	<input type="checkbox"/> ブレーキ レバーを引いたとき、前後ともかかるか？	<input type="checkbox"/> ライト（前照灯） 点灯するか？

「さいたま自転車ルールブック」の22ページで自転車の点検・整備について、もう一度確認しましょう

自転車を購入したお店で定期的に点検しましょう。

点検して少しでもおかしいところがあったり、それ以外にも気になることがあれば、購入した自転車店で点検してもらいましょう。

ですが、重要なのは「何も無い時」。普段通り自転車に乗れていても、実は自転車整備が必要な状態である場合もあります。それは自転車の整備士が点検してはじめてわかるものです。自転車に長く、安全に乗るためには、自転車に「何もなくとも」自転車店で定期的に点検・整備してもらいましょう。



さいたま市自転車まちづくり推進課 Facebookアカウント

- アカウント名
さいたまはーと
(さいたま市自転車まちづくり推進課)
- URL
<https://www.facebook.com/saitamacity.jitensha>



発行元・連絡先

さいたま市役所 自転車まちづくり推進課
TEL: 048-829-1398 FAX: 048-829-1979
Mail: jitensha-machizukuri-suishin@city.saitama.lg.jp

発行日 令和3年12月10日